

令和6年度授業改善推進プラン(調査結果分析シート)

西東京市立保谷第一小学校

●全国学力学習状況調査(小学校第6学年)

※正答率が都平均に比べ顕著に低い問題を課題としてあげた。

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	3三【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	54.7% (都71.0%) -17.1pt.	・正答率が都平均を大きく上回った問題は2-(1)、2-(2)である。どちらも情報と情報を関連付ける問題である。資料を活用し、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し伝える力がついていると考えられる。日頃から総合的な学習の時間等にも同様の学習をしているからであると考えられる。 ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができている。前段と同様に国語科、またそれ以外の教科や学習でも行っているからであると考えられる。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字の正答率は、全国平均と比べても高いところから、常用漢字の定着が概ね見られる。	・問題形式が選択式の正答率が低い傾向にある。問題の意図を把握し、情報を整理して取捨選択する力を身に付けさせていく必要がある。 ・物語文を読んで、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がみられた。読書活動の推進をさらに行うことにより、心情や情景を理解するようになって考えられる。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から課題を決め、伝え合う内容を検討することに課題がみられた。日常生活の中で自分たちの生活の中から課題を見付けることや具体的に問題を解決するための手立てを考えていくことが求められる。
	3一【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する。	49.3% (都65.2%) -16.9pt.		
	3二(1)「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する。	61.3% (都71.1%) -9.8pt.		
	1一 学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。	58.7% (都66.6%) -7.9pt.		
算数	5(4) 示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く。	45.3% (都55.5%) -10.2pt.	正答率が都平均を大きく上回った問題は、1(2)と5(1)である。1(2)は数量の関係を、□を用いた式に表す問題、5(1)は円グラフの割合を読み取る問題である。いずれも基本的な算数の知識や技能を問う問題であり、全国平均と比べて7ポイント以上高く、基礎・基本の力が育っているといえる。 ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る問題について、全国平均と比べて8ポイント以上高く、データを読み取る力の定着が見られる。	都平均と比べ最も正答率が低い問題は5(4)であった。示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、問題文の条件に当てはまるかを判断する力に課題があるといえる。 次いで正答率が低かったのは1(1)であった。問題場面の数量の関係を正しく捉え、式に表すことを求める問題である。問題文が表す場面を具体的にイメージし、根拠をもって立式するという基礎的な算数的思考力に課題があるといえる。 ・四則計算の規則性や文字式への理解が低いと考えられ、選択肢から正しい方程式を選択することが難しいのではと考えられる。 ・直方体の見取り図や円柱の展開図など、図形の情報処理が苦手な傾向にある。また、問題形式別では記述式問題の正答率が顕著に低く、無回答の割合も都と比べ約4ポイント多い。考えの根拠を記述する力に課題があるといえる。
	1(1) 問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ。	57.3% (都66.9%) -9.6pt.		
	3(1) 作成途中の直方体の見取り図について、辺として正しい物を選ぶ。	81.3% (都88.0%) -6.7pt.		
	3(2) 円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ。	69.3% (都75.9%) -6.6pt.		